

伝えよう、三計と半九の教え

そっけん

# 息軒だより

一日の計は朝(あした)にあり  
一年の計は春にあり  
一生の計は少壮の時にあり



令和3年度 10・11月号(第28号)

発行 宮崎市安井息軒記念館  
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会  
理事長 齋藤義輝 館長 川口真弘  
〒889-1605  
宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378-1  
TEL:0985-84-0234  
FAX:0985-84-2634  
e-mail:sokken.yasui@pic.bbq.jp  
ホームページアドレス  
<https://yasuisokken.jp/>

QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます。

## 安井息軒顕彰 川口市文化交流事業 Zoom(ズーム)で学習!!

昨年度から続くコロナ禍と今年開催された東京オリンピックの影響で、交流事業は中止に…。そこで宮崎市教育委員会生涯学習課は、当館との共催で夏休みに宮崎市のメンバーだけを募集する「宮崎が生んだ偉人 安井息軒先生の秘密にせまる旅」を企画しました。

7月29日(木)、宮崎市内全域の小学5・6年生21名の応募メンバーが来館し、研修室で講話を受講し、館内と旧宅を見学。その後、ズームで川口市とつないで領家村における息軒の様子などを学びました。その後子どもたちはバスで飫肥に移動、飫肥城や振徳堂などを見学し、午後3時過ぎに当館に帰着。当日学んだことを各自がレポートにまとめて、無事に学習を終えました。

これらのレポートは、10月8日(金)から11月7日(日)まで当館閲覧室に展示しています。



ズームでの学習



安井息軒旧宅見学



記念館見学



バスで飫肥へ出発



学習のまとめ



レポートのまとめ

## 安井息軒と埼玉県足立郡領家村(現川口市)

慶応4年(明治元年)3月、いよいよ江戸幕府危急存亡の時を迎えます。息軒は前年徳川家の俸禄を辞したとは言え、昌平坂学問所の儒官を務めた学者。息軒の弟子の中には尊皇派の弟子もいますし、佐幕派の弟子もいます。自らの命はともかく、家族の命も心配ですし、三計塾の内部で弟子たちの争いが起きることも心配でした。そこで息軒は弟子たちの勧めに従って、埼玉県足立郡領家村(今の川口市)への疎開を決断します。受け入れを申し出たのは、息軒の弟子の一人、領家在住の豪農、高橋善兵衛でした。善兵衛の弟が家を新築したのですが、その家を提供することを申し出たのです。息軒はこの申し出を有り難く思いました。

息軒は後妻の楨子と次男謙介、その妻淑子、孫の千菊を伴って領家村へ旅立ちます。時に慶応4年3月13日、その日は奇しくもちょうど西郷隆盛と勝海舟が、江戸城の無血開城に向けて薩摩藩の江戸藩邸で第1回会談をした日です。翌日には江戸城の無血開城が決定。そして勝海舟は後日この家に、山岡鉄舟を伴って息軒に明治天皇の侍講(個人教授)を依頼しに来ることになるのですが…。

(次ページへ続く)

息軒はこの家が大変気に入って、「息軒がやすんだ家」という意味で「息焉舎（そくえんしゃ）」と名付け、滞在中『息焉舎記』『北潜日抄』を著します。この年の3月から11月までの9か月間、領家村で疎開をすることになります。遠く砲声が聞こえる江戸の様子を案しながら…。またこの間に自らの著作を読み返し、修正を加えるなど9か月の期間を有効に使います。

「息焉舎」は、17番目の三計塾にカウントされ、その間も弟子を受け入れます。領家村での代表的な弟子が河原順信で、順信は他の弟子から盛んに明治政府のために仕官するよう誘われるのですが、断固として断り続け、領家村の子弟の教育に一生を尽くし、息軒と共に人々の尊敬を集めました。

この二人は今日でも川口市の人々に慕われ、平成15年度からは埼玉県川口市と清武町（当時、現宮崎市）との間で「安井息軒顕彰川口市文化交流事業」がスタートし、夏休みに両市の小学生の代表が相互に訪問しあって交流を深めてきました。コロナ禍が一日も早く終息して、交流が復活することを願います。（文責：川口）



## 安井息軒顕彰書道、絵画、似顔絵、自由研究入賞作品展示・表彰 保育施設園児似顔絵作品展示 川口市文化交流事業レポート、夏休みこども息軒塾作文展示 今年度はすべて記念館で行います。

同上作品の展示は、小中学校の秋休みが始まる10月8日（金）から11月7日（日）まで当館で行います。鑑賞可能な時間は午前9時から午後4時です。その間に来館いただいた入賞者お一人お一人に表彰状をお渡しします。ご遠慮なく事務室にお申し出ください。

ただし、その間の休館日及び鑑賞いただけない日は下記のとおりです。

※ 休館日：10月11日（月）、18日（月）、25日（月）、11月1日（月）、4日（木）

※ 鑑賞していただけない日（講座開講のため、研修室に入れない日。時間はいずれも午前中です。）

10月9日（土）、16日（土）、19日（火）、23日（土）、24日（日）、11月6日（土）、7日（日）

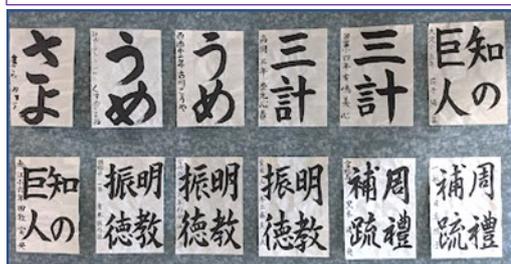
〈展示会場案内〉

【書道】特選・無鑑査・特別賞：廊下ギャラリー 金賞・銀賞・銅賞：研修室

【絵画】特選：研修室 金賞・銀賞・銅賞：廊下ギャラリー

【園児似顔絵】【川口市文化交流事業レポート】【夏休みこども息軒塾作文】閲覧室

【自由研究】研修室



## 好評開催中

### 令和3年度 夏・秋企画展「安井家のルーツを探る」

期間 令和3年12月28日（火）まで

臨時休館がありましたので、期間を延長して開催します。

会場 宮崎市安井息軒記念館 特別展示室

開館時間 9:00～16:30（最終入館 16:00）

休館日 月曜日 祝日の翌日の平日

入場無料



# 令和3年度 息軒探訪バスツアー



## 「歴史の道 飢肥街道を行く」



昨年、多くの方の参加希望をいただきながら、人数に制限があり、それにお応えできなかった「飢肥街道を行く」バスツアーを再度計画いたしました。

江戸時代、街道の要所に設けられていた関所の跡が山仮屋に残っています。山道を歩いて関所跡を訪ねます。前回厳しかった急な山道を避け、若干コースを変更して行いますが、基本的なルートは昨年とほぼ同じです。起伏の激しい林道をやや長い距離歩きますので、その点を考慮の上、お申し込みください。なお、新型コロナウイルス感染症防止に関しては、消毒、換気等十分な対策をとって行います。

1. 日 時 令和3年12月12日(日) 9:00~15:30 (小雨決行)  
受付 8:00~8:45
2. コース 安井息軒記念館(国道269号, 県道28号) ⇒ 花立公園(トイレ休憩) ⇒ 林道入口 ⇒ 山仮屋関所跡 ⇒ 石仏 ⇒ 山神社 ⇒ 山仮屋関所跡(昼食) ⇒ 林道入口 ⇒ 山仮屋隧道 ⇒ 椿山森林公園 ⇒ 姥ヶ嶽神社前(説明) ⇒ 安井息軒記念館
3. 募集定員 22名 (希望者多数の場合は抽選となります。)
4. 募集締切 11月30日(火) 必着
5. 応募方法 電話、ハガキ、FAXまたはメールでお名前とご住所、電話番号をお伝えください。  
Tel 0985-84-0234 Fax 0985-84-2634  
E-mail [sokken.yasui@piq.bbiq.jp](mailto:sokken.yasui@piq.bbiq.jp)
6. 昼 食 弁当とお茶をお配りします。
7. 参加費 2,500円(バス代、保険料、弁当・お茶代含む) 当日徴収します。

※行事の内容、日程につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や天候等の諸事情により、変更になる場合があります。予めご了承ください。



## ★ご存じですか？ 旧宅の石碑 第2弾★

「息軒だより第24号」で、旧宅及び記念館の石碑シリーズ第1弾と題して、3基紹介しました。今回は第2弾として、その他の旧宅の石碑をご紹介します。



故日高 正氏による息軒歌碑  
「先哲の遺愛の梅も今ここに  
実り豊かに実を結びけり」  
息軒顕彰に大きな足跡を残した故日高 正氏による歌碑



宮日新観光地百景  
指定の石碑  
昭和52年に同社が  
募集し、指定された  
時の記念碑

「息軒先生手植えの梅」  
の石碑  
旧宅敷地の北東の角に息  
軒先生手植えの梅と伝え  
られる梅の木の手前  
にある小さな石碑  
息軒歌碑の裏側にある



湯地翁の碑  
清武の発展に大きな貢献  
のあった故湯地平生三  
(つねぞう)氏の記念碑  
で旧清武小学校から移設  
されたもの

## 日本農業遺産に認定（息軒先生の教えが今に生きています）

田野・清武地域の農業システムが「日本農業遺産」に認定されました。（令和3年6月現在 全国で22地域が認定）。本地域の農業システムの理念には、息軒先生が今から180年前の天保11年、災害や凶作対策として「寒中にかんしょを切って干すこと」を奨励したことが生かされています。（『清武町史 通史編』上巻265ページ）。また同地域は、昭和初期から千切り用大根が栽培されていましたが、昭和35年頃からはたくあん用として干し大根が生産され、今では生産量日本一となりました。冷たい風で収穫した大根を乾燥させる“大根やぐら”が冬の風物詩となっています。

## 令和3年9月23日「息軒の日」の事業中止

宮崎市清武文化会館で開催予定しておりました「息軒の日」は、国のコロナまん延防止等重点措置及び宮崎県独自の緊急事態宣言が9月30日まで延長になった影響で、残念ながら中止になりました。

そこで、当日展示を予定していた清武町内の8つの保育施設（ふなひきこども園、しんまちこども園、せいぐう保育園、北今泉保育園、南今泉保育園、南加納保育園、黒坂保育園、加納ひまわり幼保園）から寄せられた息軒先生の似顔絵と書道、絵画、似顔絵、自由研究、川口市文化交流事業レポート等を、10月8日から11月7日まで安井息軒記念館で展示しています。ぜひご来館の上、ご鑑賞ください。



## 夏休みこども息軒塾の開催について

今年は、コロナ禍のため8月5日から記念館が臨時休館となったことから、4回の開催予定が2回のみ（7月27日、8月3日）の開催となりました。市内全域から児童・保護者26名の参加がありました。記念館職員による館内展示や、息軒先生旧宅等の説明、宮崎国際大学の森川先生のご指導による、落款や絵手紙制作等のプログラムを楽しみながら、親子で息軒先生に親しんでいただきました。



## 安井息軒かるた大会審判要領のDVD作成と記念館ホームページへの掲載

安井息軒先生の偉業等をあらわした「息軒かるた」の遊び方や競技進行の方法をわかりやすく紹介するために、顕彰会関係者が出演してDVDを制作しました。撮影・編集等の制作は、顕彰会の運営協力員の富永幸雄氏に依頼しました。動画は、安井息軒ホームページからご覧になれます。ぜひご覧ください。



## 安井息軒旧宅の清掃

9月19日（日）午前8時～10時、天候に恵まれ、顕彰会会員14名が旧宅の清掃と、新春に梅の花が咲き誇れるよう、梅の木の剪定を行いました。旧宅裏庭のイチョウの葉も色づき始め、秋の風情を感じる季節になりました。今後の清掃日は、10月30日（土）、12月11日（土）の午前9時～10時30分です。ボランティアのご参加をお待ちしております。



## <引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください>

- ・来館時はマスクの着用をお願いします。
- ・正面玄関に消毒液を設置しています。手指の消毒をお願いします。
- ・入館時に「利用者名簿」へのご記入と検温にご協力ください。



## 会員随時募集中

NPO法人 安井息軒顕彰会では新規会員を随時募集しています。お問い合わせは右記事務局まで。

### 年会費

■一般会員	2,000円
■賛助会員	1,000円
■学生会員	500円
■団体会員	5,000円（1口）



※会員の近況報告、情報提供などがありましたら、事務局までご連絡ください。

☆安井息軒顕彰会では、安井息軒旧宅清掃や記念館行事への協力等の活動を行っています。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

## NPO法人 安井息軒顕彰会

事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1  
（宮崎市安井息軒記念館内）

電話：0985-84-0234 携帯：080-8589-0569

e-mail：yasuisokken@yahoo.co.jp

